

キャンパスの緑を巡る道

東京農工大学や明星学苑の緑とふれあうコース。
府中公園など、市内の公園もいくつか経由します。

農工大ケヤキ並木



農工大は 緑のキャンパス

東京農工大学正門からのケヤキ並木は、昭和10年に以降に植栽されたもので、その先にある農学部本館(国登録有形文化財)と併せて、府中30景に選ばれています。本館正面にあるスギは、昭和9年(1934年)の竣工時に既に成木としてそこにあったもので、樹齢百年を超えらると思われます。

農工大から明星学苑へ

東京農工大学を過ぎて学園通りのトチノキの並木道を進み、信号を過ぎると明星学苑内に名木百選に選ばれたホソイトスギが見えます。明星学苑脇を左折、東八道路を右折、新町第3公園、新町第2公園を経て新町文化センターへ。

桜まつり



下河原線広場公園



桜まつりでにぎわう 桜通り

桜通りには府中街道から小金井街道まで約1kmに渡りサクラ並木が続き、毎年4月に開催される桜まつりは大勢の市民でにぎわいます。府中街道を渡って下河原線広場公園へ。ここでは昔多摩川の砂利を運搬していた線路の跡を見ることができます。すずかけ公園に立ち寄るのもいいでしょう。JR武蔵野線を越えるとまゆのかけ橋広場です。市民球場、府中医王病院を経て東京農工大学正門へ。



所要時間：約3時間20分
7.8km



こぼすなさま



桜通り広場公園



府中公園は市民憩いの広場

東京農工大学南門を下り府中公園へ。芝生広場に親水空間や遊歩道があり、ムクノキは名木百選。野外ステージも備えています。国分寺街道に出ると都立農業高校があります。正門の名木百選のヒマラヤスギは威風堂々。桜通り広場公園内の彫刻「童々広場」(籾内佐斗司作)の走る童子はユーモアたっぷり。「こぼすなさま」がいます。馬場大門のケヤキ並木を通して府中駅へ。

著名人も眠る カトリック墓地

新町文化センターからカトリック府中墓地へ。墓地には劇作家の田中澄江や日本の特撮怪獣映画の基礎を作った円谷英二など著名人も眠っています。墓地の脇の道を下り、山谷道の道標と畑を見ながら府中公園へ。



大賀博士の大賀ハスの地

寿中央公園のひょうたん池は大賀ハス誕生の地。花びらはピンクで花心は黄色の美しい花です。大賀一郎博士が遺跡で発見した種を発芽させ、自宅近くの池に移植して、古代ハスを現代によみがえらせました。

大賀ハスストーリー
大賀ハスの誕生
大賀一郎博士が、昭和26年千葉県検見川の縄文遺跡で古代ハスの種を3粒発見しました。その内の1粒の発芽に成功。同じ地層から発見された丸木船が2千年前の物であることから、2千年前のハスと認定されました。府中市では寿中央公園のひょうたん池と、郷土の森公園の修景池で見ることができます。種の皮が大変厚くて硬いため、2千年も生き続けたのでしょう。



大賀ハス